

独立行政法人水資源機構 事業評価（農業用水）委員会（第1回） 議事概要

1 日 時：平成29年6月29日（木） 15：30～17：00

2 場 所：独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 説明ホール

3 対象地区：「愛知用水三好支線水路緊急対策」地区

4 委 員： 有本 信昭 国立大学法人岐阜大学 名誉教授
飯尾 歩 株式会社中日新聞社 論説委員
千家 正照 国立大学法人岐阜大学大学院連合農学研究科 科長
増田 理子 国立大学法人名古屋工業大学社会工学専攻 教授
山本 千夏 NPO 法人グラウンドワーク東海 副理事長

5 議 事：

独立行政法人水資源機構事業評価（農業用水）委員会（第1回）を開催し、平成30年度着工予定地区である「愛知用水三好支線水路緊急対策」地区に係る事業評価資料について審議した。

質疑応答の概要は、以下のとおり。

（委 員）

事前評価資料（要約版）の地質状況で「耐震化の施工については技術的に可能である」としているが、どのような観点から技術的に可能であると整理しているのか。

（水資源機構）

耐震化の施工について、基礎地盤の液状化対策として、鋼管杭打設工法を検討している。同工法は、ダムでの施工実績はないが、河川堤や海岸堤の地震対策等として一般的に用いられている。

（委 員）

事前評価資料（要約版）で「関係市町の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り」とあるが、マスタープランとどのような整合を図っているのか。

（水資源機構）

環境との調和への配慮に関する基本方針（案）において、みよし市の田園環境整備マスタープランとの整合について整理している。

なお、三好支線及び三好池については「環境創造区域」に設定されており、整備方針

については市の所管課である産業課と調整しながら決定している。

(委員)

災害時の復旧対策費軽減効果について、三好池の耐震対策事業費が約 29 億円に対し、災害時の復旧対策費軽減効果の総効果額が約 11 億と少ないように見受けられるが何故か。

(水資源機構)

総効果額については、三好池堤体の復旧対策費用として、三好池の当初建設費を現在価値化した額に、評価期間（45 年）中の地震発生確率や割引率等を加味して算定したものである。社会情勢の違いなどにより、当初建設した昭和 30 年代と現在の工事とでは、同規模の工事であっても必ずしも同等の工事費とならないこと、地震発生確率により工事費が低減されることなどから、当該事業による事業費と復旧対策費軽減効果にかかる総効果額は単純に比較できないが、効果算定マニュアルに従い算定している。

(水資源機構)

水資源機構より、第 1 回委員会開催前に各委員へ事前説明を行い、各委員よりご意見を頂いております。この場にて、各委員の意見と意見に対する水資源機構の回答を説明します。

(委員) 耐震設計は、余震も検討に含めたものか。

(機構) 現在の技術では、余震まで考慮した耐震性能照査及び耐震設計検討は困難である。今回の事業により緊急放流施設を整備することで、大規模地震発生後に水位低下させる等、ソフト対策を含めた対応を検討している。

(委員) 三好支線のように、里山が近接した、定期的に草刈りによる攪乱が行われる環境は、ヒメボタルの生息地となりやすい。周辺でヒメボタルが生息しているという情報はないか。

(機構) これまでのところ、生息しているという情報は聞いていない。地元有識者に生息状況について確認を行うこととしたい。

(委員) 三好支線のうち、改修対象となっている区間のみ劣化が進んだ原因は把握しているか。

(機構) 劣化の進んでいる区間は地下水位が高いことから、基礎材の流亡により、管の不同沈下や側方土圧の低下を引き起こし、劣化進行の要因になったものと推測している。

(委員) 三好池耐震対策工法の選定にあたり、コスト比較に鋼管杭の更新費用は見込んでいるか。

(機構) 鋼管杭については、錆しるを考慮した鋼管の厚さを考慮し、100 年間は

交換不要であり、池堤体の耐用年数と同等程度の耐用年数を確保している。他の工法においても耐用年数を迎えた際には施設の更新が必要となることから、鋼管杭のみ特別に更新費用は見込んでいない。

(委員) 環境配慮のための工法変更(仮設道路、鋼管杭打設)で、どの程度予算増したのか。

(機構) 施工費、現地条件、地元対応等、総合的に検討した上で施工方法を決定しており、今回、採用した工法は、環境への配慮も実現できる工法となっている。このため、環境配慮対策のために工法を変更しておらず、新たな予算増は発生していない。

(委員) 万一、三好池が決壊し下流域に被害が発生すれば、被害者への賠償額は今回の湛水被害防止効果で計上した被害額より大きくなるのではないか。

(機構) ご指摘のとおり、賠償額で効果を計上することが出来れば、被害額より大きくなることが想定されるため、賠償額による計上を検討したいところである。しかしながら、賠償額の算定方法は現時点において確立されたものがなく、設定方法により大きく金額が異なる恐れがある。このため、今回の算定した被害額は、効果算定マニュアルに従い、氾濫解析結果に従い家屋が浸水したと想定し、その被害額を算出することで整理している。

(委員) 環境配慮対象としている植物は、湿地に近い状態を好む植物のため、三好池を落水し水の補給が途絶えれば、一時的に枯死することも考えられる。埋没種子により数年後には復元すると思うが、地元の方には事前に伝えた方がよいのでは。

(機構) 貴重なご意見として今後の参考としたい。植物の状況については、地元有識者の意見を伺いたいと考える。

(委員) 水資源機構は、もっと PR に力を入れても良いのではないか。例えば、とある TV 番組で、今の町割りと言昔の水路施設を比較し、どのように名残が残っているかなど、非常に興味深く説明している。水資源機構も歴史を背負った大きな施設を管理しており、上手に PR すれば多くの方に興味を持ってもらえると思う。

今回の効果算定資料もしっかり作ったものと思うが、愛知用水の施設はそれ以上に価値のあるものだ、一般の方に認識してもらうことも重要と思う。

(機構) 貴重なご意見として、今後の広報活動の参考としたい。

(水資源機構)

事前説明時における委員の意見と意見に対する水資源機構の回答につきましては、本内容で整理してよろしいでしょうか。

(委 員)

特に意見なし。

6 委員会の意見

特になし

以 上